

3月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



3/6 地区で行われたビーバー隊合同隊集会に参加しました。これは「あすなろ地区 歌とゲームの集会」がビーバー向け集会として行われたものです。他の団のビーバースカウトと一緒に活動するのは初めてでしたが、みんなばらばらに組み込まれたそれぞれのグループで、初めて会った友達と一緒に協力して楽しそうにゲームに参加していました。



3/20-21 カブ隊と一緒に神奈川県南足柄市の「あしがらふれあいの村」に春の舎営に出かけました。ビーバー隊は親子舎営です。初日は曇り空でしたが、午前中は場内探索、午後はディスクゴルフやネッカチーフリング作りをして楽しみました。



夕方からはあいにくの雨でしたが、室内ゲームをして過ごしました。夜には雨もほとんど上がったので、懐中電灯を持って再び外へ。日中には歩かなかったハイキングコースを足元を照らしながら歩いてみました。真っ暗な自然道を歩くことはめったになく、喜んで懐中電灯を使っていました。

翌日はツイストパンとシチューの野外調理。生地を捏ね、寝かせている間にシチューの材料を切ります。シチューを煮込んでいる間に記事を竹の棒に巻き付け、火の上で焼きました。焼き加減が難しかったり途中でパンが離れてしまったりもありましたが、みんな「食べられるパン」を自分で焼くことができました。

今回、初めてお母さんたちと別れて自分たちで寝具を準備して泊まりました。ちょっとときどきだったけれど過ごすことができ、カブ隊上進への自信につながったのではないのでしょうか。合間の時間も、今まではそれぞれ数人ずつで行動していたのが、みんなで何かをしようと考えて行動したり、遊びのルールでもめてしまっても自分たちで話し合っ解決したりと、成長が感じられました。



カブ(CS)隊



3/6 1/24に行われた、パインウッドダービーあすなろ地区大会で、成績のよかったCさんが、地区代表の1人として東京大会に参加しました。板橋の体育館に各地区代表のスカウト200人弱が集まり、レースを行いました。さすがに都大会となると強豪揃いで、あすなろ地区からの参加者は誰も入賞できませんでした。

その他のくまスカウトは「月の輪集会」として、ボーイ隊とともに「さくら館まつり運営奉仕」に参加しました。中野8

団が担当する「ロッククライミング」と「箸の達人」のゲームコーナーを運営したほか、駐輪場の整理などでスカウト精神を発揮しました。長時間にわたる奉仕活動でしたが、それぞれが自分の努めを果たしました。

3/13 ボーイ隊の班集会に参加しました。春休みに行われるキャンプの準備集会です。キャンプでは、月の輪組の6名が二班に分かれ、ボーイ隊の班員として参加します。





先輩スカウトから持ち物について説明を受け、キャンプ期間中の日課や注意事項を聞きました。班ごとに献立を考える場面では、月の輪スカウトも自分の希望や意見を発言し、上進前ですが早くも班の一員としての活動ができていました。

3/20-21 ビーバー隊と一緒に神奈川県南足柄市の「あしがらふれあいの村」に春の舎営に出かけました。小田原 12 団のカブスカウトと一緒に、箱根寄木細工のネッチリング

を作ったり、大雄山最乗寺までハイキングに行ったりしました。夜は、今回も星空は叶わず、

ナイトハイクだけを行いました。ナイトハイクでは森の生き物達への影響を考慮して必要最小限にといいことで、木が生い茂った森の中を懐中電灯無しで歩きました。二日目は野外炊事。クリームシチューと生地を練るところから始めた、ねじりパンを焼きました。

3/26-27 月の輪課程の仕上げとして、八王子市のひよ



どり山で行われたボーイ隊の春のキャンプに 1 泊で参加しました。6 名全員が参加し、無事に月の輪課程を修了することが出来ました。スカウトだけで生活の場を作り、班集会で立案した

メニューを班ごとに調理しましたが、予定どおり進まず夕食が大幅に遅れてしまいました。リーダーが関与せず、スカウトだけで進められるキャンプ生活を初めて経験し、ボーイ隊のキャンプ生活がどのようなものか、少し分かったようです。4 月に正式なボーイ隊スカウトとなって、様々な経験を積んで、やがて立派なスカウトになってくれることと思います。



ボーイ (BS) 隊



3/6 さくら館(城山ふれあいの家・中野 1 丁目)で行われた「さくら館まつり」に奉仕参加しました。月の輪スカウトとともに出店コーナーを盛り上げてくれました。

3/13 月の輪スカウトと共に班会議を行い、春休みのキャンプに向けて班献立の作成を行いました。

3/20 翌週のキャンプに向けて、備品整理を行いました。



3/26-29 八王子のひよどり山キャンプ場で春の班キャンプを行いました。今回のキャンプは月の輪スカウトが BS の班員となり、彼らを引っ張っていかねばなりません。しかし、立ちかまどが予定の時間内で出来ないなど、様々なトラブルがありました。それでも先輩スカウトとして、率先して作業している姿は印象的でした。月の輪スカウトが帰ったキャンプ後半は、今度は VS スカウトとの合同プログラムに臨みました。キャンプ上級者のベンチャースカウトに様々な技術指導をしてもらいました。4 月からの新体制の班に向けて、充実したキャンプをすることができました。

ベンチャー(VS)隊



3/6 さくら館(城山ふれあいの家・中野1丁目)で行われた「さくら館まつり」にOくんが奉仕参加しました。

3/13 今年度、富士スカウト章を受章したスカウトのための富士顕彰の集いが東京連盟主催で行われ、小倉くんが参加しました。午前中は自身の行ったプロジェクトの発表や、他地区スカウトの発表を聞いて回りました。午後になると、東京連盟の役員の方々から記念の品を贈呈されました。その後は立食パーティーが催され、受章スカウトと親睦を深めました。

3/20-21 春の舎営にOさんが奉仕参加しました。ビーバー隊について活動をサポートしました。お姉さんとして特に女子スカウトから懐かれていました。



3/24 隊集会に4名が参加し、地区で、富士スカウト章受章者に対し富士バックル贈呈が行われ、小倉くんが参加して記念品を受け取りました。

3/26-29 八王子のひよどり山キャンプ場で春のキャンプを行い、OくんとYくんが参加しました。班キャンプを行いました。Yくんは月の輪デンコーチとして、最後の役割を無事終了しました。3年間の振り返りを行い、上進後についてRSの先輩達と夜遅くまで語りあっていましたそうです。

ローバー(RS)隊



3/4-6 NさんがRCJ(全国ローバースカウト会議 関東ブロック(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城、山梨(県)連盟)で行われたユースフォーラムに参加し、他県連や海外派遣派遣等の活動報告会、スカウト活動で改善できる点などにつ

いての話し合い、県連盟へ提出する提言分の作成を行いました。

3/18 あすなろローバー総会が行われました。中野8団からはBS隊Kリーダー、VS隊Kリーダー、Tくん、Nさん、4月にローバー隊上進予定のVS隊Oくんが参加しました。憲章の承認、次期代表の選出等を行いました。

3/19 平成27年度CJKプロジェクト・バングラデシュ派遣の事後集会が行われ、Nさんが参加しました。報告書、引継ぎ資料の制作を行いました。



3月のスカウト進歩情報

BS: Y. S. くん マスターバッジ「メンバーシップ」
信仰奨励章
R. K. くん マスターバッジ「B-P」
信仰奨励章

ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

新年度には、指導者の“人事異動”もあります。本人の希望や各隊のバランスを考えて、団委員会で決定されます。また、ローバー年代になったスカウトは、指導者としても活動するようになります。まずは副長補として任命され、成人(二十歳)になると副長に任命されます。今年も新しい2名のローバースカウトが副長補に、2名の先輩ローバースカウトが副長に任命されました。副長になるまでには指導者向け講習の初歩、ボーイスカウト講習会とスカウトキャンプ研修会を履修します。その後、所属隊に応じた隊指導者の研修(ウッドバッチ研修所)に参加します。

ボーイスカウト講習会は、指導者に限らず、スカウト活動を知っていただく機会として広く参加を募集しています。保護者の皆さまにも是非参加していただきたい講習会です。



リーダーの活動

3/2	育フェス打合せ
3/3	地区円卓会議
3/5	地区スカウト研修 スタッフ打合せ
3/6	団会議
3/12- 13	地区スカウトキャンプ 研修奉仕
3/13	富士顕彰の集い
3/24	地区委員会
3/31	地区団委員長会議

* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

スカウト豆知識

「ちかいとおきて」

上進式で新BSスカウトがたてた“ちかい”の内容を改めて紹介しましょう。

「ちかいとおきて」は、創始者ベーデン=パウエルが示したスカウト運動の理念、すなわち、「神へのつとめ」・「他へのつとめ」・「自分へのつとめ」を反映して、スカウト達に分かりやすく実行しやすいように示したものです。

私(わたくし)は名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

1. 神と国とに誠を尽くし、おきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

”ちかいはスカウトの信条” スカウトは、名誉を生命とします。その名誉にかけて誓ったのですから、自分で破ることは出来ません。「ちかい」は一生自己を内省する鏡となり、自分をむち打つ力、すなわち『信条(心のよりどころ)』となるのです。そして、スカウトサインの3本の指は、この3つのちかいを意味します。

おきて スカウトは誠実である
スカウトは友情にあつい
スカウトは礼儀正しい
スカウトは親切である
スカウトは快活である
スカウトは質素である
スカウトは勇敢である
スカウトは感謝の心をもつ

”おきては日常生活のものさし” 「ちかい」が信条なら、「おきて」はスカウトの日常生活のものさしです。8つの項目がありますが、いずれも法律や規則のように「・・・すべし」とか「・・・してはならない」とは書いてありません。すべて「・・・である」と書かれています。この点に関し、ベーデン=パウエルは次のような言葉を残しています。『少年は「するな」によって統括されるのではなく、「する」によって導かれていく。スカウトの「おきて」は、彼が間違えをしないよう阻止するものとしてより、むしろ行動の指針とするために考案されたのである。それは模範とも言うべきスカウトに期待されるあり方を明示しているに過ぎない。』